



## 鍋物の具材の支出

— 家計調査結果より —



日に日に寒さが厳しくなり、温かい鍋やおでんを家族で囲んで食べるご家庭も多いのではないでしょうか。そこで今回は、鍋物の具材の支出について、家計調査（二人以上の世帯）の結果から見てみましょう。

### 鍋物の具材となる品目は秋から冬にかけて支出が増加

鍋物の具材として代表的な、「揚げかまぼこ」や「はくさい」、「こんにゃく」、「生しいたけ」について、2015～2017年平均における1世帯当たりの月別支出金額を見ると、「揚げかまぼこ」や「はくさい」の支出は10～12月にかけて多くなっています（図1）。また、「こんにゃく」や「生しいたけ」の支出は、おせち料理の具材としても使われることもあり、12月に特に多くなっています（図2）。

図1 「揚げかまぼこ」及び「はくさい」の1世帯当たりの月別支出金額（2015～2017年平均）

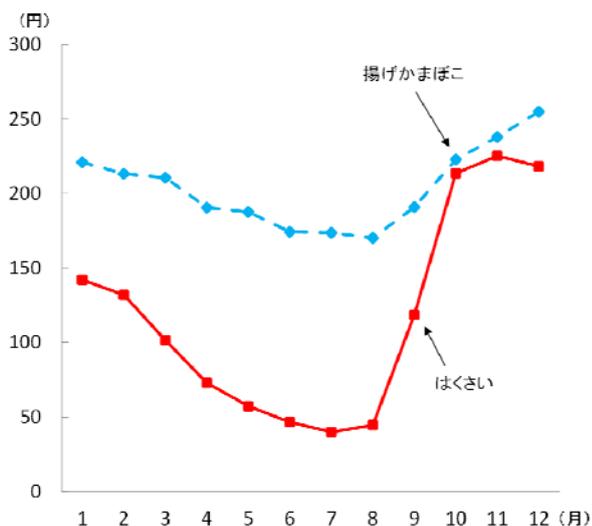
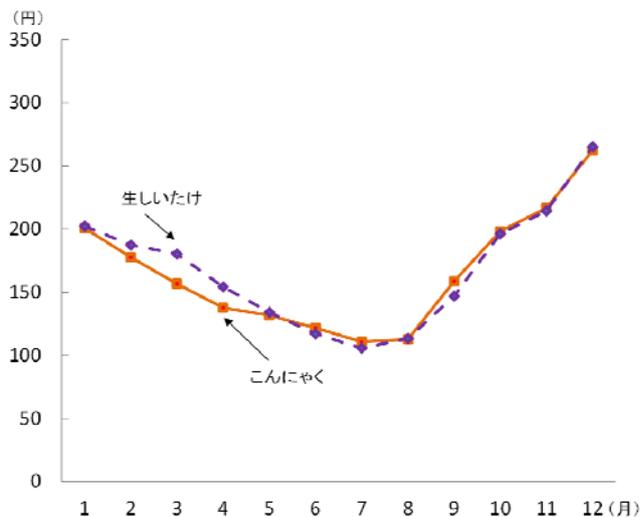


図2 「こんにゃく」及び「生しいたけ」の1世帯当たりの月別支出金額（2015～2017年平均）

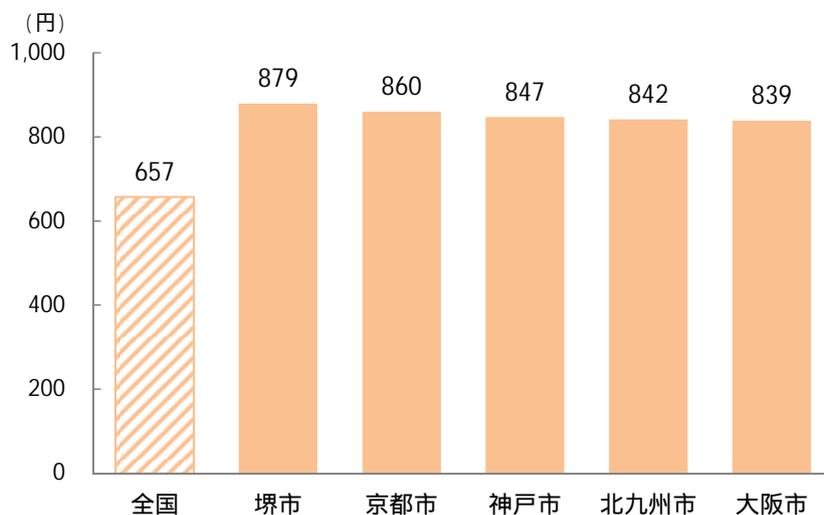


## 近畿地方の都市で多い「はくさい」の支出

次に、寄せ鍋やしゃぶしゃぶなどの鍋物の具材としてよく食べられる「はくさい」について、旬を迎える10～12月（2015～2017年平均）の1世帯当たりの支出金額を、都道府県庁所在市及び政令指定都市別に見てみましょう。上位5市のうち4市は近畿地方の都市となっており、堺市は879円と、全国平均657円より222円多くなっています。

近畿地方には豊かな郷土鍋料理が多数存在し、大阪では「てっちり鍋」、「はりはり鍋」、兵庫では「ぼたん鍋」などが有名です。はくさいは、こういった鍋物に相性がよいことから、近畿地方で多く購入されているとみられます（図3）。

図3 「はくさい」の1世帯当たり支出金額の都道府県庁所在市及び政令指定都市別ランキング（10～12月計、2015～2017年平均）



## 60歳以上の世帯で人気の揚げかまぼこ

最後に、「揚げかまぼこ」の年間支出金額（2015～2017年平均）を世帯主の年齢階級別に見ると、年齢階級が高くなるにしたがって支出金額が増加し、70歳以上の世帯の支出金額は39歳以下の世帯の4.2倍以上となっています（図4）。



図4 「揚げかまぼこ」の世帯主の年齢階級別1世帯当たりの年間支出金額（2015～2017年平均）

